

情報公開用文書(藤沢市民病院で実施する医学系研究)

2022年 9月 9日作成

■研究課題名	大腸癌腹膜転移に関する後ろ向き観察研究
■研究の対象	2001年4月から同時性または異時性の大腸癌腹膜転移に対して、原発巣および播種転移巣の切除を行った患者さんを対象とします。
■研究目的・方法	<p>【目的】大腸癌腹膜転移は少数の腹膜転移のみで過大侵襲とならなければ切除が推奨されますが、その他の腹膜転移については明確な指針が示されていません。そこで本研究では、同時性または異時性の大腸癌腹膜転移を有し、原発巣および播種転移巣の切除を行った症例の治療成績をデータ解析し、当院における大腸癌腹膜転移の治療戦略の妥当性を検討することを目的とします。</p> <p>【方法】同時性または異時性の大腸癌腹膜転移を有し、原発巣および播種転移巣の切除を行った患者さんの診療録(カルテ)から患者さんの背景情報、手術情報、治療経過、病歴情報、予後情報を調べます。</p>
■研究期間	倫理委員会承認日から 2030年 1月 1日
■研究に用いる 試料・情報の種類	患者さんの診療録(カルテ)から、以下の情報を抽出します。 患者さんの年齢、性別、BMI (Body Mass Index)、術前麻酔リスク分類、腫瘍主座、手術日、手術時間、出血量、術式、術中合併症、術後全合併症、退院日、病理組織型、リンパ節転移、遠隔転移、脈管侵襲、手術根治度、郭清リンパ節個数、転移リンパ節個数、病理学的ステージ、最終生存確認日、再発が確認された日、初発再発形式
■試料・情報の 取得と保管方法	院内電子カルテから各情報を抽出します。その情報ファイルにはパスワードをかけ、院外ネットワークから独立した院内のPCを使用し、院内サーバー内で行います。
■外部への 試料・情報の提供	外部への試料・情報の提供はありません。
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますので、下記連絡先まで電話またはFAXにてお申し出ください。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>お問い合わせ先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先:</p> <p>〒251-8550 藤沢市藤沢2丁目6番1号 藤沢市民病院 消化器外科 (研究責任者) 山岸 茂 電話番号:0466-25-3111(代表) FAX:0466-25-3545</p>	